

パルシステム生産者・消費者協議会

第24回農法研究会 開催報告

パルシステム生産者・消費者協議会
事務局

- ・2017年1月18日に有楽町朝日ホール（東京都）にてパルシステム生産者・消費者協議会主催、第24回農法研究会を開催しました。当日は午前中に同会場にて公開確認会報告会を開催し、14時より16時20分まで農法研究会を開催しました。
- ・79産地148名の生産者、パルシステムグループ関係者171名、合計319名の出席がありました。
- ・大津清次代表幹事の開会挨拶・趣旨説明の後に、一般社団法人日本健康食育協会 代表理事 柏原幸代氏より『しっかり食べてお腹からやせる！～心と体が元気になる食べ方～』と題した講演をいただきました。
- ・講演では炭水化物を摂取しても太らない食生活、食材の組み合わせ（着火剤と炭水化物）により燃焼率を上げる方法、玄米（消化が悪く吸収も悪い）とお米を食べることの効果、事例からみた理想的な食生活の分析などにふれられました。
- ・今回の講演内容に合わせ、米産地である農事組合法人庄内協同ファームの高橋直之氏（生産者/生消協東北・北海道ブロック副ブロック長）より産地ビジョン報告を行いました。また、地域協同組合無茶々園（※宮内庁届出の受賞団体名）理事長の宇都宮俊文氏より産地ビジョン報告と2016年度農林水産祭村づくり部門において天皇杯を受賞した報告を行いました。
- ・農法研究会のまとめを生消協のアドバイザーである香取政典氏より行いました。そのなかで、「産直産地の事情が生消協立ち上げの時からだいぶ変わってきた。作ったら売れる時代ではなくなった。さらに5年後、10年後はまた違った社会、世界がやってくる。今回作成した産地ビジョンを参考に、いつまでも昔の考え方でいるのではなく、世代交代、世代間協力、産地間協力を含め、時代時代にあった対応をしていく必要がある。」と話されました。
- ・今回の農法研究会の講演テーマおよび産地ビジョン報告にあわせ、コア・フードの炊飯米のレトルトパック（180g×3パック）を来場者に配布しました。



・会場の様子



・大津代表幹事による開会挨拶



・ 柏原氏による講演



・ 産地ビジョン報告

以上